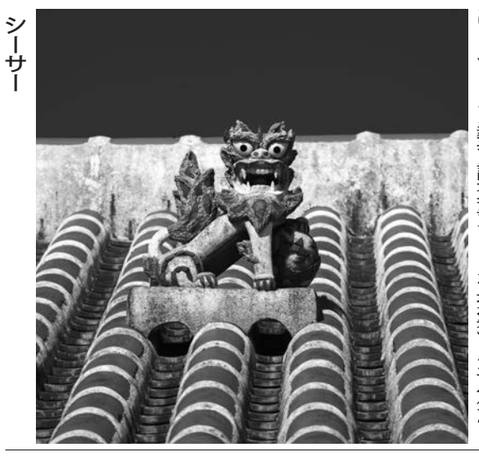
キャリア教育調査事業を展開

沖縄県　教育旅行の魅力を発信

沖縄県は、日本の中でも独特な風土の中で育まれた歴史、文化などの魅力をアピールし、教育旅行の誘致に取り組んでいる。国内外からの継続的な教育旅行の定着を図るため、さまざまな支援事業を実施し、満足度の向上を図りながら、新たな市場開拓に取り組んでおり、2019年度は、より充実した教育旅行の魅力を発信することを目的に、キャリア教育調査事業を展開した。

これは、学校側の具体的なニーズや県内外の先進事例、県内事業者の受け入れ態勢の現状と、受け入れ態勢構築に向けた課題などの調査分析を行ったもの。これを生かし、今後は、県内事業者とも連携を図りながら、キャリア教育、SDGs（持続可能な開発計画）、探求学習などの要素を含んだ新たな教育旅行のメニューを提案する予定だ。


シーサー

また、沖縄での教育旅行を検討している学校関係者や旅行会社などに向けて、その魅力や、学習効果を広く発信し、積極的な相談を行うことを目的に毎年「沖縄修学旅行フェア」を開催するほか、全国各地での「修学旅行説明会」を執り行う。併せて、教育旅行の事前、事後学習や、新規で検討している学校へのサポートも継続的に行う。

「学校のニーズに応えることができる『歴史』『文化』『自然・環境』『平和』など全ての分野における学習ができる。また、リゾート地としての非日常体験も可能なことから、教育旅行実施地域としての総合力が高く評価されている」と沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）の教育旅行チーム。

沖縄教育旅行に関する問い合わせは、OCVB本社（沖縄県那覇市）☎098（859）6125、もしくは、同・東京事務所（東京都千代田区）☎03（5220）5311まで。

東京スカイツリーエリア

東武鉄道高架下に複合商業施設
「東京ミズマチ」ウエストゾーン開業

北十間川から望む商業施設

東京都台東区にある浅草と、同墨田区にある東京スカイツリータウンを結ぶ新たなエリアが誕生する。東武スカイツリーラインの「とうきょうスカイツリー駅」の間にある鉄道高架下の複合商業施設「東京ミズマチ」のウエストゾーンが4月に開業予定。また、それに先立ち、隅田川に新設される歩道橋「すみだリバーウォーク」が開通する。

浅草と東京スカイツリーを結ぶ新たな東西軸が整備され、浅草寺から北十間川エリア、そして東京スカイツリータウンまでの約1・4キロメートルが最短で結ばれることになる。

「訪れる人に楽しみながら回遊してもらえるルートを創出し、浅草、東京スカイツリーエリアの連携を一層強化する」と東武タワースカイツリー。

併せて、教育旅行の誘致も積極的に進める。浅草エリアは大型バスが駐車できるスペースが少ないため、例えば、大型バスが浅草に到着した際に、修学旅行生を下ろしてから東京スカイツリーの専用駐車場に移動していったん待機する。その間、修学旅行生は、浅草周辺と、すみだリバーウォーク、東京ミズマチを回遊してもらいながら、東京スカイツリーへ移動してもらう、といった提案を予定する。

東京ミズマチでは、テラス席を設けたカフェやベーカリー、日本初出店となるニューヨークで人気のレストランなど、個性豊かなショップをそろえた。また、公園と水辺の周辺環境を生かし、テイクアウトが楽しめる店舗が出店する。6月から順次開業予定のイーストゾーンでは、ボルダリングジムを中心としたスポーツスタジオに加え、カフェやサイクルショップなどを併設した店舗などが出店する。

東京スカイツリー

未来体験ツアーを提供

東武タワースカイツリー（東京都墨田区）は、隣接する東京スカイツリータウンの東京スカイツリーイーストタワー8階にある千葉工業大学・東京スカイツリータウンキャンパスと連携し、東京スカイツリー展望台の入場を予約した学生団体を対象に修学旅行特別プログラム「未来体験ツアー」を提供している。

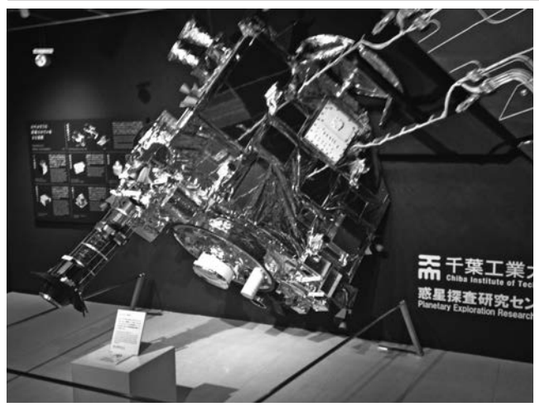
同キャンパスは、研究活動を通じて生まれた最先端技術を応用した体験型アトラクションゾーン。未来体験ツアーは、300インチの巨大スクリーンによる宇宙の誕生から現在までの138億年を大迫力の映像と音響で紹介する3Dシアターからスタートし、災害対策ロボットの操縦の実演などを体験できる約1時間のコースを、ガイド付きで楽しむことができる。

最近では、小惑星探査機「はやぶさ2」の実物大模型の展示を開始。併せて、はやぶさ2が着陸とサンプルリターンを試みた小惑星「リュウグウ」の7千分の1サイズの模型も展示した。展示されているリュウグウは、3Dプリンターにより表面の凸凹まで忠実に再現され、触ることもできる。

修学旅行などの学校団体に求められる体験学習に力を入れている東京スカイツリーでは、学校団体予約を利用しやすくするために、昨年から学校団体の入場予約券の料金を改定し、値下げしたが、さらに、東京、埼玉、千葉、神奈川の小中学校限定で、特別割引料金の提案も始めた。また、予約時の利用条件を大幅に見直し、学校団体予約が簡単にできるようにした。

併せて、事前学習にも力を入れており、そのコンテンツとして「東京スカイツリーの構造や建築技術」「東京スカイツリーが建つ墨田区の歴史」「墨田区の平和」「東京スカイツリー館内説明」を用意している。

申し込み・問い合わせ先は、東京スカイツリー団体予約センター☎03（3626）0634。



はやぶさ２

リュウグウ模型

京都　東映太秦映画村

体験学習プログラムが人気

東映太秦映画村（京都市右京区）では、修学旅行生に体験学習プログラムが人気。体験学習は修学旅行に必須のメニューとなっており、映画村では、「見る・学ぶ・作る・参加する」をテーマに、京扇子、京うちわの手描き体験のほか、清水焼絵付け体験などがある。

班別研修用には、少人数用のメニューとして、映画村ならではの「変身体験」がある。メイク、かつらを省いて着物の着付けのみの「時代衣装体験」のお手軽プラン。短時間で変身し映画村の江戸の町を散策できる。

時代衣装体験

見る・学ぶ・作る・参加する

村内もリニューアルでアトラクションが次々と登場している。時代劇や忍者をテーマにしたものが充実した。

「天空クライミング忍登（しのぼり）」は、高さ7メートルの壁を登ったり飛び降りたりするスリル満点のクライミングアトラクション。安全装置を着用しての本格的なスポーツクライミングを気軽に体験できる。未成年は同意書に保護者のサインが必要なので、あらかじめ同意書をホームページからダウンロードし、必要事項を記入の上持参が必要。

天空クライミング忍登

立体迷路「忍者の砦」は、高さ10メートル、3階建て240ブロックの屋内型立体迷路で日本初登場。屋内の特性を生かし迷路の中には岩落とし、つり天井など忍者の仕掛けたギミックやアスレチックが楽しめる。

また毎日開催している無料イベントもおすすめ。時代劇セットの工夫や撮影時の裏話などを交えながら俳優が映画村を案内する「おもしろ散策ツアー　俳優さんといっしょ！」は俳優ならではの面白い話や豆知識が聞けて楽しめる。「侍講座～刀剣初級篇～」は侍や刀の所作などが学べる体験型イベントで、実際に刀（竹光）を用いて侍の立ちふるまいや刀の振り方などを俳優から直々に分かりやすく教えてもらえる。

さらに、年間を通して数々の人気ゲーム・アニメーションとコラボレーションした期間限定の特別イベントも開催している。

パンフレットの郵送、申し込みなど体験学習に関する問い合わせは東映太秦映画村☎075（864）7716まで。

おもしろ散策ツアー　俳優さんといっしょ！

東京スカイツリータウン

ミールクーポンを発売

東京スカイツリーを運営する東武タワースカイツリー（東京都墨田区）は昨年の12月から「東京スカイツリータウンミールクーポン」の販売を開始した。「学生団体向けの新たな施策として商品開発を行った」と観光営業部の森本洋正氏。また、旅行会社からの「団体で食事をできる場所が少なくて困る」という要望に応えた。

ミールクーポン

東京スカイツリー展望台の入場を予約した学生団体が対象。フロア350と340にあるスカイツリーカフェ、東京ソラマチ・グルメガイドに掲載されている店舗で利用できる（一部店舗を除く）。

「東京でしか食べることのできないレストランや、地上350メートル、340メートルでの食事など、修学旅行の思い出の一つになれば」と森本氏。

ミールクーポンの額面は税込み500円。

問い合わせ先は、東京スカイツリー団体予約センター☎03（3626）0634。

錯覚を体験、学び発想力を養う

トリックアート美術館

日本発祥の参加・体験型アート「トリックアート」。平面の絵が飛び出したり、角度により違う雰囲気の絵に見えたりする不思議なアートだ。東京・お台場と栃木・那須高原にあるトリックアートの常設館は、これらの作品を見るだけでなく、写真に撮ったり、自由に触れたりとさまざまな体験ができる。思い出づくりとともに、芸術性を学び、発想力を養える体験・見学地と、中学や高校の修学旅行で人気を集めている。

東京トリックアート迷宮館

多くの人気作品を展示

「東京トリックアート迷宮館」は、江戸をテーマにした和風のトリックアートをはじめ、多くの人気作品を展示する体験型の美術館。東京屈指の観光スポットお台場にあり、一般客や修学旅行客で年中にぎわっている。

館内に入り、まず目にするのは「江戸エリア」。「華やかな江戸の彩」をコンセプトに、色彩豊かで親しみやすいモチーフの、和風の作品を数多く展示している。

「跳び出す鳥獣戯画」

例えば「跳び出す鳥獣戯画」は、国宝・鳥獣人物画に描かれたカエルやウサギが立体的に跳び出す様子を表現。鑑賞者は驚いて捕まえようとしたり、一緒に走り出したりするなど、現実と絵が一体になったユニークな写真が撮れる。

次の「愉快な忍者とおばけ屋敷」では、忍者やお化けのトリックアートが来場者を出迎える。隠し扉などさまざまなトリックも仕掛けられていて楽しい。

隠し扉を抜けた先は「トリックアート名作ギャラリー」。過去の名作から最新作まで、バラエティ豊かな作品を展示している。

スマートフォンの画面をかざすと静止画のアートが画面の中で動き出す「AR（拡張現実）」対応のトリックアートも展示。利用には無料アプリのダウンロードが必要だが、スマートフォンを持たない生徒らには同館スタッフが端末を使い体験をサポートするなど誰もが面白さを体感できる。

昨年、イベント情報メディア「ウォーカープラス」で、「今行くべきスポット」の全国1位を獲得した。館内に仕掛けられた謎を解きながら作品を観賞する「リアル謎解き」を開催するなど、新たな取り組みが評価されている。

お台場は高校生の自由行動で人気の場所に選ばれており、その中でも芸術性と、楽しさを感じられる施設として、トリックアート美術館は修学旅行の良き思い出の1ページとなるだろう。

▽東京都港区台場1の6の1、デックス東京ビーチシーサイドモール4階。☎03（3599）5191。不定休で、午前11時から午後9時まで営業。入場料大人千円、中学生以下600円。

ＡＲ作品「ドラキュラのおやつ」

那須とりっくあーとぴあ

施設がリニューアル

「トリックアートの館」。リニューアルした外観

「那須とりっくあーとぴあ」は、国内最大のトリックアートのテーマパークだ。「トリックアートの館」「トリックアート迷宮?館」「ミケランジェロ館」の三つの施設で構成。この2月はトリックアートの館がリニューアルオープンし、展示と体験内容がさらに充実した。

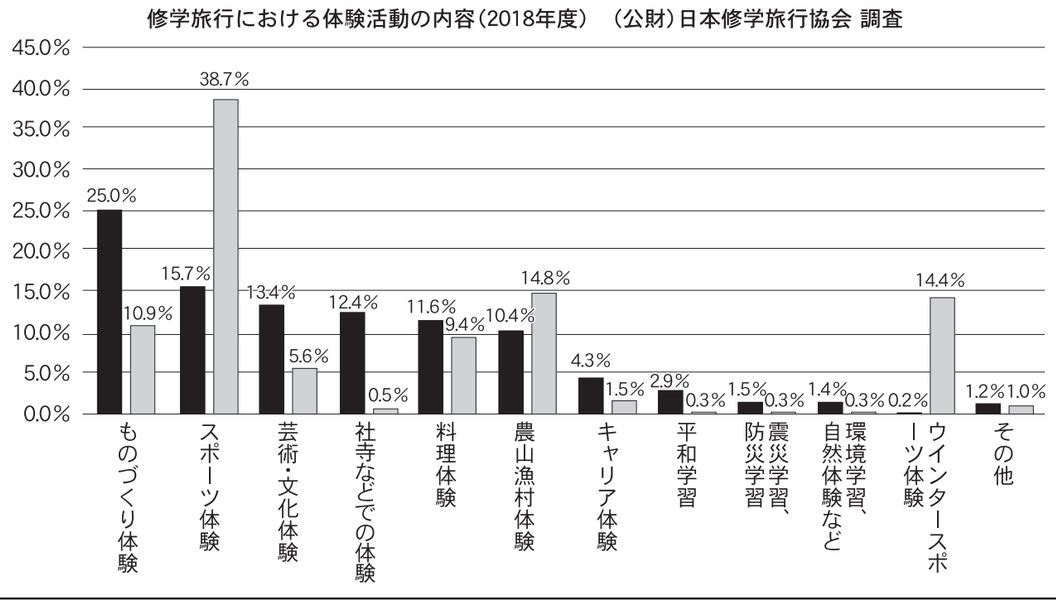
リニューアルのテーマは「異空間にとらわれた館」。まず、建物全体が歪んで見えるユニークな外観が印象的だ。建物自体がトリックアートの大きな作品となっている。

一歩中に入ると、足を奪われそうになる「歪む床」や、森の中にいるような錯覚にとらわれる「動物の森」など、内装のほぼ全てがトリックアートになっている。

このほかトリックアート迷宮?館は、魔法の世界をトリックアートで再現。「最後の晩餐」や「アテネの学堂」そして「システィーナ礼拝堂」が見る人を圧倒する。

敷地内にはトリックアートの制作工房を併設。アーティストが作品を制作する現場を見学できる。

▽栃木県那須郡那須町高久甲5760。☎0287（62）8388。不定休で、午前9時半から午後6時まで営業（8月は午前9時から、10～3月は午後5時まで）。入場料3館共通大人2700円、中学生以下1800円。

生徒の「生きる力」を育む体験学習　座談会（13、14面）　参考資料

修学旅行における体験活動の内容（2018年度）　（公財）日本修学旅行協会 調査